



主な内容 Contents

- 明るい農村食堂イナカーデ開催 …… 2～3
- 竹炭まつり開催 …… 4～5
- 循環型社会づくりを推進します …… 6～7
- FlashNews (まちの話) …… 12～13

絆からはじまるふるさとの復興

地域の誇りを伝える

皆田和紙・紙すき体験教室

上月地域づくり協議会と皆田和紙保存会の共催で、2月13日、上月歴史資料館にて紙すき体験教室が開かれました。参加した子どもたちは、同保存会の藤田京子さん（上上月・写真左）から紙すきを教わりながら、500年以上続く皆田和紙の伝統にふれました（関連記事 13頁）。





若州学生村の学生たちも席に着き交流を深めました。一番左は今回初めて佐用町を訪れた丸岡直記さん（関西学院大学）



テーブルが離れていても来場者同士は顔なじみ。席を立つごとに会話が弾みます



ステージで腹話術を披露する長谷地域づくりセンター長の尾崎節男さん（奥金近）。「酔ってもちゃんと家に帰ってよ」と楽しいやり取りで会場を盛り上げました



「明るい農村食堂イナカーデ」久々に開店

ふれあいが育む地域の未来

2月2日、みうち若杉館で「明るい農村食堂イナカーデ」が、約1年ぶりに開店しました。この事業は、国土交通省の助成を受け活動する『町防災に強い地域づくり推進協議会』と『海内地域づくり協議会』が協働で企画・開催したもの。会場には地域住民約100人が来場。食事をしながら、ふれあいを楽しみました。

地域・商工会などの協働の中で

この取り組みは、佐用地域の各地域づくり協議会と町商工会などで組織する『町防災に強い地域づくり推進協議会』の「チャレンジ移動商店街」と題した実証実験のひとつ。町商工会青年部のバックアップを受けて、地域に商店・飲食店がない海内地域で、住民のたまり場をつくること、うるおいのある暮らしをつくること、また地元商店（街）を守ることを大きな目的に、昨年は1月から3月まで月1回、開催されました。

地域住民や学生たちもスタッフで参加

冒頭に海内地域づくり協議会会長の柴田義美さん（桑野）が「昨年はお客の立場でした

が、今回はスタッフとなるよう企画しました」とあいさつ。昨年と異なり、配膳などのスタッフに、地域の人も参加しました。

また今回は、若州集落の民家を拠点に活動する佐用学生連絡協議会のメンバー7人もスタッフとして参加。昨年同様、町商工会青年部の人もバックアップしました。

視察に訪れる人たちも

来場者の皆さんは、1000円券10枚つづりの食券を購入。その食券で、飲み物を注文し、カウンターにならぶ食べ物を買ってから、それぞれ席に着いて、家族や近所同士でのディナータイムを楽しんでいました。

ステージでは、余興として腹話術の名人である長谷地域づくりセンター長の尾崎節男さん（奥金近）が腹話術を披露。会場を盛り上げました。その他、今後の集落活動の参考にと、豊福集落の人たちが視察に訪れ、同協議会の役員の皆さんと情報交換を行いました。

1年ぶりの開催で、これだけ多くの人たちが来場してくださり、本当にうれしいです。

地域には若い世代の人たちが少ないですが、私たちの頑張り、年間の開催回数も増やしていくことができたいと思っています。

また、この事業だけに限らず、スポーツ大会や交流会などにも力を入れたいと思います。



梶本 健一 氏（海内）

地元に住む若者で地域を盛り上げたい

今日、初めて佐用町を訪れた学生の一人です。地域の高齢者のかたとお話すると、みうち若杉館のグラウンドの半分は、昔は麦畑であったことなど、気さくに話してくださいました。

初対面ですが、私たちに気軽に話してください、受け入れてくださっていることに、とても感謝し、うれしく思います。



太刀掛篤志 氏（関西学院大学）

地域に受け入れてもらえとてもうれしい

昨年開催されたイナカーデには3回とも、家族で参加しました。自宅から歩いて数分の距離なので、この催しはとても気に入っています。

子どもに「今日はパーティーやで」と言うと喜び、普段と違う雰囲気を楽しんでいます。



濱田潤 氏・菜穂子 氏・一樹 氏（桑野）

子どもは「パーティー」と喜んでいきます

私のチャレンジエコライフ

一昨年の台風9号の大被害。豪雨やサイクロンなど、世界の各地では異常気象による様々な自然災害が発生しています。これも地球温暖化の影響でしょうか。

他人事のように感じていた地球温暖化が、私たちの暮らしもおびやかしています。このようなことが二度と起こってほしくないと思いを新たにしました。

そこで、ストップ温暖化に向け、自分にできることを少し実行してみました。

■その1 生ごみゼロへ

山すその自然の中で、ウコッケイを飼いはじめました。最初は6羽。今ではヒナも生まれ20羽ほどになりました。家庭の残飯、生ごみはこのウコッケイのえさになります。米ぬかと生ごみにEM菌を混ぜて発酵させ、エサとして与えると、フンもあまり臭いません。

■その2 緑のカーテン

昨夏、窓辺にニガウリを植え、「緑のカーテン」を作りました。ニガウリは10月まで収穫できました。

■その3 マイバッグ・マイ箸・マイボトル持参

外出時には、必ず持参するよう心がけています。

■その4 ちょっとびり環境美化も

道路わきの空き地に、四季折々の花を植えて、楽しんでいます。

地球環境に役立つ何かを探して、まずは自分から。

小さなことでも実践してみませんか。

このシリーズは町地球温暖化防止活動推進協議の皆さんが、交替で寄稿しています。



久崎地域で復興を支援する学生グループ「チャコネット」と、地元学生との混成グループ「チャコネットウィズ上月」が、炭焼きコンテストで最優秀賞に。福岡光介さん（早瀬1・写真中）と横山一樹さん（下秋里・写真中左）が地元学生として活躍しました

また前日の12日に開催された「炭を活かした福祉と防災のまちづくり」シンポジウムには約80人が参加。庵途典章町長の基調講演後、上月竹炭生産組合を含む全国7か所の竹炭を使った地域活性化の事例が発表され、参加者の皆さんは熱心に耳を傾けていました。

**シンポジウムでは
全国7か所の事例が紹介される**

「コネットウィズ上月」が最優秀賞に輝きました。その他、竹炭を使った地域活性化のアイデアを競うコンテストや、竹炭石けんづくり体験、各種バザーやスターダストキッズなどのステージショーなどが、祭り気分を盛り上げました。

笹ヶ丘公園内の炭焼き場で炭焼きコンテストの準備をする学生の皆さん



元氣なステージを披露したスターダストキッズ



竹炭石けんづくり
に挑戦する来場者

復興支援『竹炭まつり』開催

見直そう 人と山の関係

かつては町内で盛んに作られた竹炭。災害に強いまちをめざし、竹炭で人と山の見直そうと、2月13日、笹ヶ丘ドームで「竹炭まつり」が開催されました。このイベントは一昨年の水害以降、町の復興を支援する学生や、ボランティアで組織する『佐用町を支援する市民ネットワーク』の主催。被災者宅の脱臭・湿度調整用に炭を提供した関係者たちも集い、イベントを盛り上げました。

**地元と京阪神の学生チームが
炭焼きコンテストで最優秀賞**

本イベントのメインは、学生による竹の炭焼きコンテスト。学生の皆さんは、昨年10月に町内2か所で竹を300本伐採。上月竹炭生産組合（会長・内海義隆さん（久崎））の皆さんから、竹炭焼きの指導を受けるため、学生が毎週末、作業に汗を流してきました。イベント当日は、学生4団体が焼いた竹炭の品評会を実施。「子育てほっとステーションくさき」を活動拠点とする阪神間の学生と、地元の学生で構成する『チャ

町内産竹炭を活用 してほしい

上月竹炭生産組合
会長 **内海義隆**さん（久崎）



学生たちの熱心さに負けて、炭焼きの指導にあたりましたが、若者たちから毎回、元気をいただきました。竹炭の利用方法は、お風呂に入れたり、炊飯器に入れたりとした様々な活用方法があります。町内の直売所でも竹炭は扱われています。皆さんもぜひ町内産の竹炭をご活用ください。それが地域の活性化につながります。

当組合は平成8年に発足。当初は約40人いた会員も、今は10人足らずです。炭焼きは大変奥が深く、毎年12月に品評会を開き、技術を磨いてきました。

竹炭の汎用性を生かすしかない

佐用町を支援する市民ネットワーク
代表 **関 優里香**さん（神戸大学）



このプロジェクトのきっかけは、ちょうど一年前、被災地NGO協働センターのかたや学生との雑談から始まりました。まさか実現できるとは思いもしませんでした。全国で発生する水害は、山林が荒れていることが原因の一つとして考えられています。人と山との関係を見直し、さらには佐用町を元気づけるためには、かつて佐用町の特産であった「竹炭」をきっかけに、山と向き合い、竹炭の汎用性を生かすしかないと思います。今回、学生による炭焼きコンテストなどを実施しましたが、今後も継続して実施し、啓発できればと思います。

循環型社会づくりを推進します

『にしはりま環境事務組合』では、姫路市安富町・たつの市新宮町・六栗市・上郡町・佐用町のごみを処理する「にしはりま循環型社会拠点施設」の建設を、3月から始めました。当施設はダイオキシン類などを発生させないため、最新の技術を導入し、安全で効率的な焼却処理を行います。また発生する熱の利用や、資源ごみのリサイクルを行い、ごみの減量化と循環型社会づくりを推進します。稼動は平成25年4月の予定です。



建設する「にしはりま循環型社会拠点施設」のイメージ図と位置図



安全で効率的な運転のために

私たちの生活は、近年多く使用されるようになったパックや容器類のほか、使い捨て製品によって、とても便利になりました。しかし、ごみの処理には焼却が不可欠で、何よりも人体に有害なダイオキシン類を抑制する焼却処理が必要です。

加えて、ごみを減量化し、再利用できるごみをリサイクルするなど、循環型の社会づくりを推進するために、合併前から西播磨の各市町が「にしはりま循環型社会拠点施設」の建設に向け、調整を進めてきました。

新たに建設する施設では、焼却炉を24時間稼動して安全で効率的な運転を行い、循環型社会づくりを推進します。

熱回収施設とリサイクル施設を建設

新しい施設は、三日月地域三ツ尾地内に建設しています。事業費は約77億円。敷地面積は約3万2千平方メートルで、施設の延べ床面積は1万1千平方メートルあります。

施設は大きく分けて「熱回収施設」、「リサイクル施設」、「管理棟」「その他付属施設」の4つ。

熱回収施設では、ごみ焼却で発生する熱エネルギーを発電に利用し、エネルギーの有効利用を図ります。また、燃



焼管理や温度管理、有害ガス除去装置などの最新の技術で、排出ガス中のダイオキシン類などが除去されます。

またリサイクル施設では、びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙パックなどの資源ごみを、リサイクルするための処理が行われ、ごみ処理だけではなく、環境に配慮した社会づくりを推進します。

施設完成とともに変わるごみの分別方法

この施設の完成にともなっ

て、ごみの分別方法が変わります。これまでは「可燃」「不燃」に分けていたごみは、左表のように分別し、収集される予定です。

具体的な分別方法などは、今後説明会などを開催し、お知らせします。

【施設整備について】

問 にしはりま環境事務組合

☎ 0791・58・1500

【ごみの分別について】

問 住民課環境衛生対策室

☎ 82・0660

施設完成とともに変わります

新しいごみ分別方法

新しい施設では、容器包装リサイクル法などに基づいて、びん、缶、プラスチックなどの資源ごみを12種類に分別回収し、ごみの資源化、減量化とともに二酸化炭素の排出抑制につなげます。※下記の分別方法は、今後変更することがあります。

大分類	小分類
可燃ごみ	生ごみ、紙くず、木くず、紙おむつ、アルミホイルなど
資源ごみ	缶類
	スチール缶
	アルミ缶
	①
	びん類（飲料用・食用品用）
	透明
	茶色
	その他の色
	②
	③
	④
	紙・布類
	新聞
	雑誌・チラシ
	段ボール
	紙パック
	紙製容器包装
	布類
	⑤
	⑥
	⑦
	⑧
	⑨
	⑩
	プラスチック類
	ペットボトル
	プラスチック製容器包装（白色トレイ）
	⑪
	⑫
その他	乾電池、蛍光灯
不燃ごみ	金属雑品、小型家電、カセットボンベなど
粗大ごみ	木製家具、カーペット、布団などの可燃粗大
	小型家電製品、自転車などの不燃粗大
埋立ごみ	ガレキ、陶器類、ガラス類

※「埋立ごみ」は佐用クリーンセンターで、それ以外は新しい施設で処理します。



起工式に参加する庵道町長（2月19日）



現場に出向き、復興事業の状況を目で確かめる委員の皆さんと町職員の。①は大規模河川改修現場（久崎）、②は緊急治山事業の現場（下秋里）、③は子育てほっとステーションくざき（久崎）



町災害復興計画に基づき、復興の進捗確認や課題分析を行う「町災害復興計画フォローアップ委員会」が委員10人で発足。第1回目の会議を1月28日、さよう文化情報センターで開催しました。この日は町内の復旧・復興の現場に出向き、様々な取り組みを確認し、意見交換を行いました。

町災害復興計画
フォローアップ
委員会

第1回会議を開催

復興の進捗状況をチェック

■フォローアップ委員
※◎は委員長、○は副委員長

◎室崎益輝	関西学院大学教授
○前林清和	神戸学院大学教授
井口悦子	一般公募
石黒永剛	町議会台風9号災害・復興対策特別委員会委員長
長田貞子	町教育委員長 職務代行者
坂口 榮	町自治会連合会会長
祖開正平	町農業委員会会長
谷本 学	町商工会会長
新田妙子	町民生委員会副会長
松田芳夫	町消防団長

■オブザーバー

小畠 寛 西播磨県民局長

（敬称略）

の現地に出向き、工事の進捗状況や、まちづくりへの

問 企画防災課復興企画室

☎ 82・2460

その後、復興事業を確認するため、県の大規模河川改修の現場（久崎）、空き店舗を改修し、久崎商店会が地域活性化をめざし運営する「子育てほっとステーションくざき」、また緊急治山事業の現場（下秋里）の現地に出向き、工事の進捗状況や、まちづくりへの

会議冒頭に行われた正副委員長選任では、委員長に関西学院大学教授の室崎益輝さん、副委員長に神戸学院大学教授の前林清和さんが就任。室崎委員長は「新しい社会づくりに力を合わせたい」と呼びかけました。

現地確認を終えた委員の皆さんからは「商業が立ち直るきっかけがない」「若者が減少するなか、支え合うのも限界がある」「鳥獣被害対策、山の安全対策をいかに行うか」などの意見が出されました。室崎委員長は「災害前からの課題も含め解決することが復興。今後も自由な意見交換を行いたい」と力を込めました。なお、今後は年2回程度、会議が行われる予定です。

町内の復興現場で
理解を深める

災害前からの
課題解決も視野に

取り組みを確認しました。

会議の冒頭で「自動車移動中に災害に巻き込まれる事態は、どこでも起こる可能性があります。災害を教訓に全国に発信できる対策をしたい」とあいさつする庵途町長



災害検証委員会
の提言を受けて

災害時の車移動者の安全確保に向けて

道路管理者の連携で安全確保を

1月31日、さよう文化情報センターで、国・県、西日本高速道路、佐用警察署、町による「佐用地域における災害時の道路情報伝達・対応連絡会」を開催しました。この会議は一昨年の水害時、町内を車で移動中に被害が発生したことを踏まえ発足したもの。次回は今月下旬開催の予定で、より具体的な協議に入ります。

定期会議や訓練実施
などを取り決める

こと、情報伝達訓練を行うことを取り決めました。

西日本高速道路が
対応策を提案

同会は、町災害検証委員会の報告書で、自動車移動者への情報伝達と誘導改善に関する提言（提言72、76）を受けて発足したもの。豪雨などの災害発生時に、高速道路上のドライバーには、一般道がどんな状況か伝わらないため、連携を強化し、ドライバーの安全確保の方法を協議します。将来、同会へ参加予定の宍粟市、岡山県美作市も同席しました。

西日本高速道路からは、携帯電話などで高速道路の通行止めなどの情報が分かる「アイハイウェイ」が紹介されたほか、災害時にインターチェンジで車両を安全な場所に誘導する具体案が提案されました。次回は今月下旬開催予定で、各機関の具体的な対応策を持ち寄り、連携を模索します。

今回の会議では、事務局を当面佐用町に置くこと、定期会議を年1回開催する

問 企画防災課復興企画室
☎ 82・2460

ハイウェイ交通情報
ケータイサイト **Highway**

下記のアドレスで高速道路の交通情報が提供されています。情報提供料は無料です（パケット通信料は別）。

<http://ihighway.jp>

- ①交通状況をマップで確認できます。
- ②マップでは確認できない詳細な事項は文字情報で確認できます。
- ③頻繁に使うルートを登録しておけば通行止が発生したとき、および通行止が解除されたときに、メールでお知らせが届きます。
- ④西日本高速道路エリア独自のサービスで、通行止め解除の目安が確認できます。
- ⑤高速道路の天気を確認できます。

●道路交通情報など高速道路に関するお問い合わせ
NEXCO 西日本お客さまセンター

※番号をよくお確かめのうえ、お掛けください

☎ 0120-924-863

※フリーコールがご利用できない場合は

☎ 06-6876-9031

第6回子ども会駅伝大会

開催日 1月23日⑩
場所 南光スポーツ公園周辺

【混合の部】

第1位 徳久小A（紙上駿平・段城衣舞・加藤美波・加納正康・山根早絵・豊岡龍弥・春名茜里・眞島直哉）

第2位 上月小A（清水鈴太・永見明渚・若林輝・森詩保子・清水萌加・藤



子どもたちの熱い戦い（町子ども会駅伝大会）

【女子の部】

第1位 佐用小（長谷川奈央・久保萌恵香・金高みちる・藤木亜美・植田真央・福地 惟）
第2位 三日月小（坪内友香・藤井 凜・山本真帆・西平美砂・出水瑞希・坂上莉瑚）
第3位 三河小（阿曾沙耶・小久保亜美・居合かがり・藤本瑠那・高橋直花・井上花恋）

生勇貴・福井 花・坂口純大）
第3位 佐用小A（山根崇純・白井 結・大坪華苗・石黒由矩・竹田梨奈・孝橋昂齊・横山詩萌・上村溪護）

哲也・小笹直輝・下出敦稀・木村友紀・山縣 遵・井口尚哉）

【混合の部：男子】

第1位 眞島直哉（徳久小A）
第2位 藤生勇貴（上月小A）
第3位 清水鈴太（上月小A）

【男子の部】

第1位 佐用小A（井上悠杜・長谷川永・春名愛仁・孝橋優樹・千種海人・山本開斗）
第2位 佐用小B（井上琢杜・留田峻輔・坂野一波・中西亜由夢・川村浩晃・山田峻輝）
第3位 三日月小A（新田

第65回男子／第26回女子 兵庫県都市区対抗駅伝競走大会

2月6日、加古川市で開催された兵庫県都市区駅伝

第3位 H・I・S 48（佐用小）
優勝 チーム ドドスコ（上月小・江川小混成）
準優勝 Orange Girls（上月小）
第3位 がんばろうミッキー（江川小）

【女子の部】

第3位 がんばろうミッキー（江川小）
優勝 チーム ドドスコ（上月小・江川小混成）
準優勝 Orange Girls（上月小）
第3位 がんばろうミッキー（江川小）

ミニバスケットボール クリニック

2月20日、佐用勤労者体育センターで、佐用町バス

ケット協会など主催のミニバスケットボールクリニックが開催され、町内の子どもたちを含め約70人が参加しました。
講師は、プロバスケットボールプレーヤーとして活躍した川面剛さん。ドリブルやシュートなどの基礎的な講習と、チーム対抗のミニゲームが行われました。
その後行われた質問コーナーでは、町内の子どもたち「どうしたら上手になるのか」「チームを強くするには」など、真剣な表情で質問していました。



ミニバスケットボールの講習会終了後、講師の川面剛さんにインタビューする町内の子どもたち。「え〜っと、何を聴こうかな？」

レクイエム・プロジェクト佐用町 合唱団員募集

経験不問

8月にコンサート

合唱経験がない人でも参加できます。今年の8月28日⑩、おりひめ文化ホールでコンサートを開きます。

募集要領

男性の団員大歓迎

参加資格 中学生以上。特に男性を募集します。

募集パート ソプラノ、アルト、テノール、バス
募集締切 3月31日⑩

練習・場所

月2回、土曜日または日曜日の昼間2時間程度。場所はさよう文化情報センターで。

費用 月1,000円

申し込み・お問い合わせ お名前、住所、年齢、希望パート（不明の場合は未記入でも可）を、電話・ファックスでお知らせください。

生涯学習課

TEL 82・3336
FAX 82・0313

台風9号災害復興支援事業

住宅再建に活用してください

住宅災害復興融資 利子補給制度

被災者の住宅融資の利子を一助成します。

利子補給対象限度額

【建設・購入】

1,960万円以内

【補修】 640万円以内

利子補給率 1.9%

※支援機構の災害復興住宅融資に連動

補給期間 5年間

申請時期 融資契約締結後、原則1か月以内

高齢者住宅再建支援事業

高齢を理由に融資を受けることができないときに費用の一部を助成します。

補助金 定額100万円

支給方法 一括補助

申請時期 被災した住宅を再建したとき

被災者生活再建支援金

台風9号災害によって自宅に被害を受けたかたで、自宅の再建、補修を行うかたは、加算金の申請をしましょう。

対象となる世帯

住宅の被害が「全壊」か「大規模半壊」と認定された世帯で、建設・購入・補修・賃貸などの方法で住宅の再建を行う世帯

加算支援金の支給額

【建設・購入】

200万円

【補修】 100万円

【賃貸】 50万円

※賃貸は公営住宅を除きます。

※一人世帯の場合は、各支給額の4分の3になります。

企画防災課復興企画室

TEL 82・2460



自主制作したCDやカセットテープを手に笑顔を見せる作詞者の中井とま子さん

「前向きに生きる」思いを歌に

町花“ひまわり”を題材に歌2曲を自主制作

中井とま子さん（上上月）が作詞を手がけ、町花“ひまわり”を題材にした歌「南光ひまわりサンバ」と「南光ひまわり情歌」がこのほど完成しました。中井さんは「素人の道楽なんです」とうれしそうに話しました。

幼いころから作文や短歌をよむのが好きだった中井さん。それが高じて昭和58年ごろから、千種川や上月城址などを題材にした作詞を手がけてきました。そして一昨年の台風9号の集中豪雨では、自宅が1.6mも浸水。「ボランティアの皆さんに本当にお世話になりました。そんな人たちのためにも、頑張らないとあかんと思いました」と奮起。去年は知人の作曲家とともに「頑張らにゃ佐用」と「宿場町平福」を自主制作し、地域のかたが踊りをつけるなど話題となりました。

“ひまわり”を題材にした今回の歌は「復旧も落ち着きはじめてので、“ひまわり”のように元気な歌を作りたい」との思いで、曲調はポップなサンバを作ろうと考案。一面に元気に咲くひまわりの様子からイメージを膨らませ、「希望の花」や「にこにこほほえむひまわり畑」など、元気な佐用町を連想させるフレーズをちりばめました。旧南光町の時代から存在する「南光音頭」「南光町民歌」と内容が重ならないよう配慮もしました。

佐用町以外にも、上郡町や相生市などのご当地ソングもボランティアでつくる中井さんは「水害で苦勞も多くありました。でも歌作りを通じて前向きに、元気に生きていきたいです」と明るい笑顔で話していました。

地域の誇り「皆田和紙」を学ぶ

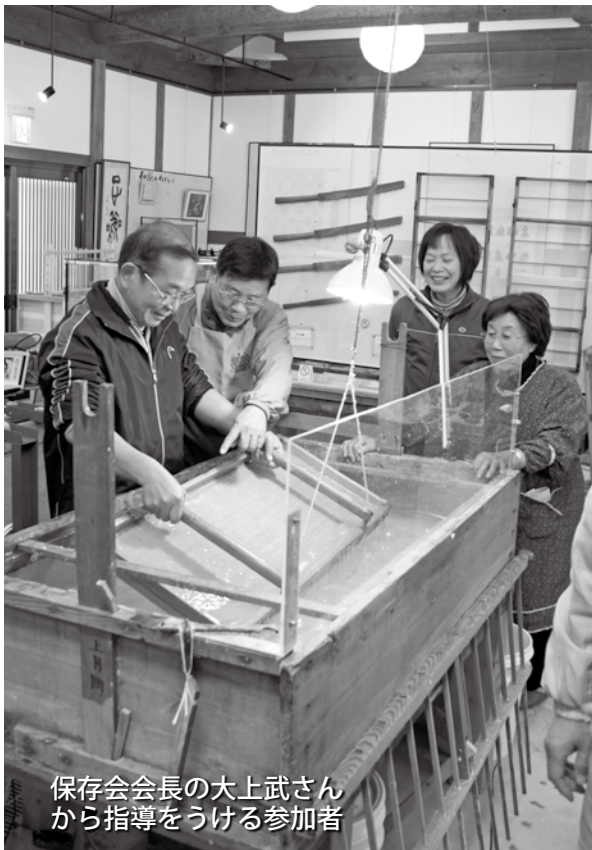
上月地域づくり協議会で紙すき体験

2月13日、上月歴史資料館で上月地域づくり協議会まちづくり文化部（部長：阪上好延さん（目高））主催の紙すき体験教室が開催され、子どもから大人まで約30人が参加しました。参加者は、地域の誇り「皆田和紙」を、紙すきを通じて学びました。

皆田和紙は、文明7年（1475年）に、奈良県の興福寺で使用されたと古文書に記され、500年以上の歴史があるといわれています。現在は、皆田和紙保存会（会長：大上武さん（中上月））が、保存・継承活動を行っています。

参加者は、保存会のかたから指導を受けながら、実際に紙すきに挑戦。慣れないため何度も失敗をする人もいましたが、少しずつ上達していました。

また子どもたちは、和紙の葉書づくりにも挑戦。モミジの葉をすかしたものなど、思い思いの葉書づくりに取り組んでいました。



保存会会長の大上武さんから指導を受ける参加者

かわいい鼓笛隊が元気に演奏

三日月保育園発表会

2月19日、三日月保育園で恒例の発表会が行われました。園児たちはこれまで一生懸命に練習を重ねてきた合奏や歌、劇などを保護者の前で、元気いっぱい披露しました。

年長児による鼓笛演奏では、ドラムマーチ、きらきら星、ひげじいさんが演奏されました。鼓笛隊の服を着て、真剣に演奏する子どもたち。保護者の皆さんは、子どもたちの成長を心から喜んでいました。

園児たちの発表のほかにも、同園職員による劇「シンデレラ」や、保護者会（会長：桑田隆男（田此））役員による楽しい人形劇も行われ、会場は園児たちの笑顔がはじけていました。



年長児たちによる鼓笛演奏



消防署員から消火栓の使い方を教わる参加者（江川地域）



水が入った練習用消火器で消火訓練（徳久地域）

「1.17は忘れない 減災月間」

各地で防災訓練が実施される

地域の防災意識を高めようと、各地域づくり協議会主催の防災行事が行われました。多くは阪神淡路大震災が発生した1月17日に開催予定でしたが、大雪のため延期。日程を変更して開催されました。

■消火栓を使った消火訓練を実施

江川地域づくり協議会・江川小学校

2月1日、江川地域づくり協議会（会長：木村政照さん（福沢））と江川小学校による「江川安全安心行事」が開催されました。

まず始めに、江川ふれあいホールで行われていたふれあい喫茶で、火災が発生したと想定して避難訓練を実施。その後、消防署員による実技講習が行われました。参加者は、重い消火栓のふたを持ち上げ、ホースを伸ばし放水を始めるまでの一連の動作を体験。女性も真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

■仮定の避難勧告で徳久小学校へ避難

徳久地域づくり協議会・徳久小学校

1月24日、徳久地域づくり協議会（会長：鎌内大助さん（林崎））と徳久小学校による「1.17防災行事」が開催されました。

午前10時に、防災無線で仮定の避難勧告が発令。児童と地域の人たちは、同小学校に避難し、その後阪神淡路大震災を体験した荻野君子さん（神戸市）から、被災体験などの話を聴きました。そして消火器による消火訓練の後は「いも煮会」が作った熱々のいも煮を食べて、解散しました。

千本の桜でお花見はいかが？

第6回 佐用町 桜まつり



日時 4月2日(土) 午前10時～午後2時

場所 笹ヶ丘公園／笹ヶ丘ドーム

桜がほころぶ笹ヶ丘公園で、恒例の桜まつりを開催します。バザーや宝さがしなど、イベント盛りだくさん。千本の桜が、皆さんのお越しをお待ちしています。

また本イベントで、全国から募集し、決定した町の観光イメージキャラクター（裏表紙24頁）もお披露目します。

問 商工観光課商工振興室 ☎ 82-0670

播磨江川 陰陽師の里

第1回 コスプレイベント開催

ふれあいイベントにいらっしやい

江川地域には、陰陽師として有名な安倍清明、芦屋道満の2人の塚が存在し、この地で亡くなったことが古文書に記されています。また地域には2人にまつわる地域資源が多く残っています。

江川地域づくり協議会では、これらの資源を生かし、地域の活性化を図るため、コスプレイベントを開催します。全国から、安倍清明・芦屋道満に扮した人たちが集います。

江川地区文化センターでは、ふれあいイベントを開催しています。



日時 3月12日(土) 午前10時～午後5時

場所 江川地区文化センター

問 企画防災課まちづくり防災室 ☎ 82-0664

宅地分譲

予約受付中

さよひめ団地 広山団地

■売却物件

団地名	面積 (㎡)	価格 (円)	所在地
さよひめ団地	334.50	10,586,400	本位田字八反田甲
広山団地	294.00	3,175,000	広山字大畑
	274.14	3,097,000	

■応募者の要件

- ①自ら居住するための住宅を必要とするかた（町内外不問）
- ②指定する期日までに宅地売買代金を支払えるかた

■分譲条件

- ①5年以内に、専用住宅を建築すること
- ②第3者へ転売・転貸しないこと

問 商工観光課定住対策室 ☎ 82-0670

突然、身に覚えのない借金。の請求書や公的機関を装った請求督促状が届き、金銭の請求をされる「架空請求」。また無料と思つて利用したサイトから高額な料金を請求される「不当請求」。どちらもハガキや封書、メールなどで一方的に金銭を要求され、中には脅迫めいた文書が書かれている場合もあります。

- 問 町消費生活センター（商工観光課内） ☎ 82-0670
- ① 対処方法
覚えがなければ絶対に支払わない
 - ② 請求者に自分から絶対に連絡をしない
 - ③ 消費生活センターや警察へ通報する

消費生活ひとくちメモ
架空請求不当請求ってなに？

	佐用教室	上月教室	南光教室	三日月教室
開設場所	主にさよう文化情報センター	主に上月文化会館	主に南光文化センター	主に三日月文化センター
一般講座 各分野から講師を招いての講演（毎月1回）	午前10時～正午 開催基準日：第3木曜日	午前10時～正午 開催基準日：第3水曜日	午前10時30分～正午 開催基準日：第2木曜日	午前10時～正午 開催基準日：第3火曜日
専門講座 基本的に一般講座開催日の午後に行います（学習計画は各都で立案します）	手芸、アートフラワー、栄養と料理、歴史、盆栽、生花、書道、俳句、工芸、コーラス	園芸、陶芸、手芸（ちぎり絵）、書道、実用書道、音楽、パソコン	手芸（ちぎり絵）、コーラス、書道、園芸、料理	書道、歌謡、健康ダンス、大正琴、パソコン
クラブ活動 各クラブにおいて開催日・活動内容を決定しています	ゲートボール、健康ダンス、生け花、囲碁、うたごえ、ニュースポーツ			ゲートボール、グラウンドゴルフ、陶芸
対象者	町内に在住しているおおむね60歳以上のかた			

- 【募集要項】
- 学費 1教室につき、1年間1,000円（ただし、専門講座・クラブなどの材料費など実費が必要）
 - 入学申し込み 生涯学習課、各支所地域振興室にある申込書でお申し込みください。
 - 申込締切 3月22日(火)
 - その他 どの教室、複数の教室にも入学可能です。
 - 生涯学習課
 - 上月支所地域振興室 ☎ 82-3336
 - 南光支所地域振興室 ☎ 86-1210
 - 三日月支所地域振興室 ☎ 79-2982

高年大学学生募集
豊かな人生は学びから
様々なことを学び、学んだことを自分の人生に、そして地域に生かすこと。それが心豊かな人生とまちづくりにつながります。さあ高年大学で、みんなで楽しく学びましょう。



入場無料 春休み特別上映 光都映画祭

開催日 3月19日(土)～3月27日(日)
※3月21日(月)は休館

ところ 光都プラザ・オプトピア

日程	上映内容	上映開始時間
3月19日(土)～20日(日)	ボルト (96分)	午前10時10分～午後0時10分～午後2時10分～
3月22日(火)～25日(金)	ハローキティ & 悟空の大冒険 (48分)	午前10時10分～午前11時10分～午後1時10分～午後2時10分～午後3時10分～
3月26日(土)～27日(日)	トイ・ストーリー3 (109分)	午前10時10分～午後0時15分～午後2時20分～

問 オプトピア ☎ 0791(58)1155

佐用郡美術協会 会員展

ところ さよう文化情報センター

とき 3月25日(金)～27日(日)
午前9時～午後5時
※27日は午後3時まで

日本画 洋画 書 写真 工芸

■会員募集
日本画・洋画・書・写真・工芸の会員を募集しています。（年会費1,000円）

問 生涯学習課 ☎ 82-3336

平成22年分所得税確定申告 平成23年度町・県民税の申告相談

3月15日(火)まで

平成 22 年分所得税確定申告、平成 23 年度町・県民税の申告相談は 3 月 15 日(火)までとなっています。申告がお済でないかたは、期限までに申告をしましょう。

申告の日程はすでにお知らせしていますが、各自治会ごとの申告相談日に不都合がある場合などは、同一会場またはその地域や町全体の申告相談日にお越しください。

町全体の申告相談

3月11日(金)

3月13日(日)～15日(火)

■受付時間

午前 9 時～午前 11 時 30 分

午後 1 時～午後 3 時 30 分

■受付場所

さよう文化情報センター

災害による雑損控除の繰り越し

昨年、災害による雑損控除の確定申告をしたかたのうち、翌年に繰越額のあるかたは今年の確定申告で税を軽減することができます。また確定申告によって、所得金額より前年からの繰越額が多い場合は翌年に繰り越すことができます。ただし申告期限の 3 月 15 日(火)までに申告をされたかたのみとなりますので、ご留意ください。

税務署から届いた所得税の確定申告の書類一式および平成 21 年分の所得税の確定申告書(損失申告用)の控えを必ずご持参ください。

問 税務課町税対策室 ☎ 82-0662

●登録しておきましょう さよう安全安心ネット

登録をすると、気象情報や防災情報などの緊急情報が携帯電話やパソコンメールに届きます。

まずは登録から！①か②の方法で

- ①下記 URL にアクセス
<http://bosai.net/sayo/>
- ②QRコードでアクセス



昨年 9 月に全戸配布しました「保存版 わが家の防災マニュアル」に掲載の登録方法で、アクセスする URL に誤りがありました。正しくは上記のとおりです。お詫びして訂正します。

問 企画防災課まちづくり防災室
☎ 82-0664

■手続きの方法
原動機付自転車(125cc以下)・小型特殊(トラクターなど)は、ナンバープレートと印かんを持参し、税務課、または各支所・出張所で手続きをしてください。

問 税務課町税対策室
☎ 82-0662

■手続きは3月中旬に
軽自動車や単車の廃車
単車・軽自動車などの税金「軽自動車税」は、毎年 4 月 1 日現在の所有者に課税されます。車両を処分したり、他人に譲ったときは、4 月 1 日までに必ず廃車の手続きをしてください。手続きをしないと、引き続き課税されます。

■その他

原付、農耕用車などを購入したり、譲り受けたりしたかたは、ナンバープレートの交付申請をしてください。印かん、販売証明書、廃車証明書などを持参し、税務課、または各支所・出張所で手続きをしてください。



ご存知ですか

介護手当制度

町では、在宅高齢者、または在宅の重度心身障がい者(児)で寝たきりのかたを介護している家族に、介護手当を支給しています。申請がまだのかたは、手続きを行ってください。

■支給額 月額 1 万円(3 か月ごとに 3 万円ずつ年間 4 回支給)(重度障がい者(児)介護手当の場合、月

額 1 万 5 千円の場合もある)。所得制限(高齢者本人配偶者、扶養義務者)があり、支給は認定請求のあった翌月からとなります。

■対象者 65 歳以上のかた、または重度障がい者で次の 2 項に該当する人を介護するかた
①居宅で 6 か月以上寝たきりの状態で、常時介護を

問 健康福祉課社会福祉推進室
☎ 82-0661

必要とする状態
②【在宅高齢者の場合】居宅で認知症の状態、常時介護を必要とする状態
【在宅障がい者の場合】障がい者手帳 1 級または 2 級を所持されているかた、または重度知的障がい児と判定されたかた



4月から新しい受給者証に 国民健康保険 高齢受給者証を更新します

国民健康保険に加入し、高齢受給者証(70 歳から 74 歳)をお持ちのかたで、一部負担割合が「2 割(平成 23 年 3 月 31 日までは 1 割)」のかたは、4 月 1 日から新しい受給者証になります。新しい受給者証は、3 月下旬に郵便でお送りしますので、必ず内容をご確認ください。

なお、古い受給者証は、住民課、各支所・出張所に返却してください。

問 住民課年金・保険室 ☎ 82-0660



地域安全・安心を守る 消防団員募集

「自分が育った町、自分が暮らす町、大切な町を守りたい」。そんな人たちが集まる消防団に、あなたも入団しませんか。地域を知るあなただからこそできることがたくさんあります。みんなの町をいっしょに守りましょう。

■消防団員になるための資格・要件

- ①町内に在住・在勤する 18 歳以上のかた
- ②身体強健で、団員として品位を保持できるかた

問 企画防災課まちづくり防災室 ☎ 82-0664

上下水道課からお知らせ

家族の異動は届出を

毎年 3 月・4 月は、生活の拠点の変更(異動)が多い時期です。下水道使用料金は使用人数で算出しています。入学や就職などで異動が生じる場合には『下水道使用料変更届』が必要です。この届けは、異動事由が生じたときに、随時届出が必要です。

届出は、役場本庁(住民課)、各支所・出張所をお願いします。

問 上下水道課下水道管理室 ☎ 86-1212



新着図書案内

2011.1.16 ~ 2011.2.17 受け入れ分の一部



●大人向けの本

西日本戦国史料館 & 博物館ベストガイド

戦国歴史文化研究会／著 メイツ出版

「賢バカ」になっちゃいけないよ

酒井雄哉／著 PHP研究所

原爆が消した広島 田辺雅章／著 文芸春秋

はじめての世界一周 ー超短期で行く？じっくり長旅で行く？

吉田友和／著 PHP研究所

孫正義「規格外」の仕事術 ーなぜソフトバンクは逆境でこそ強いのか

三木雄信／著 PHP研究所

家のない少年たち ー親に望まれなかった少年の容赦なきサバイバル

鈴木大介／著 太田出版

ナノ・スケール生物の世界

リチャード・ジョーンズ／著 河出書房新社

USTREAM ビジネス応用ハンドブック

ー最新 200 事例から成功の秘訣を学ぶ

ヒマナイヌ／監修 アスキー・メディアワークス

お気に入りの糸でつくるかわいい小物

誠文堂新光社／編 誠文堂新光社

おから百珍 日本の伝統文化を考える会／編者 GU企画

色紙に描く季節の俳句

日貿出版社／編 日貿出版社

漆への憧憬 ジョン・ストーカー／著 里文出版

それぞれの東京 ー昭和の町に生きた作家たち

川本三郎／著 淡交社

朝吹真理子／著 新潮社

江上 剛／著 幻冬舎

奥田英朗／著 光文社

▲安土城の幽霊 ー「信長の棺」異聞録

加藤 廣／著 文芸春秋

杉本章子／著 講談社

おしまいのデート

瀬尾まいこ／著 集英社

★風景 瀬戸内寂聴／著 角川学芸出版

苦役列車 西村賢太／著 新潮社

★胸さわぎのクルーズ 矢口敦子／著 講談社

横浜唐人お吉異聞 山崎洋子／著 講談社

お徳用愛子の詰め合わせ 佐藤愛子／著 文芸春秋

無垢の博物館 上・下巻

オルハン・パムク／著 早川書房

●子ども向けの本

カラクリ江戸あんない

太田大輔／文・絵 福音館書店

よくわかる宇宙と地球のすがた

国立天文台／編 丸善

グリニッジ大冒険 ー“時”が盗まれた！

ヴァル・タイラー／著 バベルプレス

▲は図書館と上月図書室に、★は図書館と南光図書室に、■は図書館と三日月図書室にあります。

「○○さんは、口調が速くて何を言っているのかわからない」。個人差はありますが、だれもが年齢を重ねるにつれ、外からの情報を頭で瞬時に処理する能力が衰えます。

さて、あなたがもしそうならば、どうしますか。分からないまま適当に返事した、あるいは分からないので、その人との会話を避けるようになったなどの経験をお持ちのかたもいらっしゃるのではないのでしょうか。

しかし、分かっているようにふるまうとトラブルの原因になります。また、分からないといって会話を避けると、閉じこもりや認知症・うつ病などが進行する要因にもなります。

相手の話が
分かりづらいつと感じたら

地域包括支援センター通信

大切なのはそのとき、自分が「分からない」ことを、相手に「分かってもらおう」こと。勇気を出して「分からないかったから、もう1回ゆっくり言ってくれませんか」と伝えてみましょう。

相手もあなたが理解しやすいように話し方を工夫するでしょう。話す相手と思う良い機会にもなります。

会話は「相手がどう思っているか」「自分が何を言いたいのか」など一度に多くの情報を処理するため、脳の活性化にもつながります。できるだけ多くの人と会話をしてみてくださいね。

問 地域包括支援センター

(健康福祉課健康増進室)

☎ 87・8020

すべての市民の暮らしを応援します

としょかん



だより

佐用町立図書館

佐用郡佐用町佐用2585 TEL 82-0874 FAX 82-0313

メールアドレス toshokan@town.sayo.lg.jp

ホームページ http://www.toshokan.town.sayo.lg.jp

4月10日(日)～16日(土)

館内整理のため休館

通常の月末整理日には行えない所蔵図書の整理を行うため、4月10日(日)から16日(土)まで休館します。この期間は、図書の貸出や館内での閲覧はできませんので、ご了承ください。

長期休館に伴い、3月27

日(日)から4月9日(土)まで、

特別貸出を実施します。この

期間中は、貸出上限をな

くして何冊でも借りること

ができます。また、新刊雑

誌の貸出期限も2週間に延

長しますので、ご利用くだ

さい。

参加者募集

高見太郎國一氏講演会

家内市内の鍛刀場で創作活動に励み、これまでも新作名刀展で日本一となった刀匠、高見太郎國一さんの講演会です。刀の歴史や魅力に迫ります。ぜひ、ご参加ください。

■日時 3月19日(土)

午後1時30分～午後3時

■場所 さよう文化情報セン

ター会議室2・3

■講師 刀匠

高見太郎國一さん

■対象 一般

■募集人数 50人

おはなし会 (申込不要)

【小さい人(5歳以上)】

■日時 毎週日曜日

午後2時30分～午後3時

■3月のおはなし

「かしこいモリー」

【大きい人(小学3年生以上)】

希望のかたは、カウンタ

へお申し出ください。

図書館カレンダー

3月 March 弥生							4月 April 卯月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4					1	2	
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30

ママプラザだより



みんな集まれば

ママプラザは、今日も親同士の会話や子どもたちの明るい声が響いています。子育ての相談に来るかた、「散歩の途中」と窓の外から手を振るかたなど、多くのかたがママプラザにかけわり、地域との出会いの中で様々な体験をしています。

家庭生活の積み重ねと同じで、子どもの心にも染み込み、栄養となっていくのではないのでしょうか。

この春、保育園や幼稚園に入る子どもたちもいます。スタッフとして成長に喜びと、少しの寂しさを感じる時期になりました。親も子

問 キラキラ子ママプラザ

☎ 82・4108

ビスラ子ママプラザ

☎ 86・1153

ひまわり子ママプラザ

☎ 78・0264

みかづき子ママプラザ

☎ 79・3788

ひとりで悩まず相談を
性暴力・ドメスティック
バイオレンス相談電話

0120-941-826

※電話受付期間

3月27日(日)午後10時まで

■国が実施する相談電話です。

■受付期間最終日を除き、24時間いつでも相談可能です。

■どんな被害でもご相談ください。

■相談の秘密は厳守します。

■匿名での電話も受け付けます。

■被害にあっているかたの家族・友人からの相談も受け付けています。

行事カレンダー

■デイ・ケア（精神障がい者社会復帰訓練事業）

3月24日㊤

4月12日㊤

午後1時30分～午後3時30分

■こころのケア相談日（要予約）

3月10日㊤

午後1時～午後3時

※場所は佐用町保健センター

問 健康福祉課健康増進室 ☎87-8020

■こころのケア相談日（要予約）

①3月15日㊤

午前10時～午後3時

場所は佐用町保健センター

②3月18日㊤

午後1時～午後2時

場所は龍野健康福祉事務所

■若者の心と体の相談（要予約）

3月18日㊤

午後1時～午後3時

※場所は龍野健康福祉事務所

問 龍野健康福祉事務所 ☎0791(63)5142

赤ちゃん和妈妈の行事

★3歳児健診（平成20年1月～2月生まれ）

3月16日㊤ 午後1時～

★ヨチヨチ健康相談（平成22年3月生まれ）

3月18日㊤ 午後1時30分～

★4か月児健診（平成22年11月生まれ）

3月28日㊤ 午後1時30分～

★すてきなママになるための教室（妊婦）

3月28日㊤ 午前9時30分～

★0歳児クラス（2か月～1歳未満）

4月 4日㊤

2か月～6か月児 午前10時～午前11時30分

7か月～1歳未満児 午前10時30分～正午

★すくすく健康相談離乳食教室

（平成22年9月生まれ）

4月 7日㊤ 午前10時～

※場所はさよう子育て支援センターで開催します。

※母子健康手帳の交付は上月保健福祉センターとさよう子育て支援センターで行っています。事前に保健師がいることを確認してからお越しください。

ご存知ですか 脳脊髄液減少症

近年、交通事故やスポーツ外傷、転倒・打撲などで脳脊髄液が漏れ、減少することで「脳脊髄液減少症」とよばれる病気が起こるのではないかとわれています。その症状には、頭痛、けん怠感、ふらつき、めまい、首から腰・手足の痛み、吐き気、記憶力・集中力の低下、視覚障がい、睡眠障がい、耳鳴り、微熱などの症状があります。

この病気は、まだ定まった診断方法や、治療基準が確立しておらず、国で医学的な解明を進めています。

一方で通常の生活を送ることに支障があるにもかかわらず、周りの人から怠慢であるなどの批判を受けるなどの事例も指摘されています。

この病気に関することは、下記までご相談ください。

問 龍野健康福祉事務所地域保健課

☎0791(63)5142

児童福祉の向上で「のじぎく賞」受賞

中村肇さん・みち子さんご夫妻

5回にわたってお正月の短期里親をつとめ、児童福祉の向上と、里子の健全育成に尽力した中村肇さん・みち子さんご夫婦（中上月）に、のじぎく賞が贈られました。おめでとうございます。



のじぎく賞を手にする中村肇さん・みち子さんご夫妻



がん検診を受けましょう

■がん検診を受けましょう

日本では、がんが死亡原因の1位になっています。しかし、診断と治療の進歩によって、早期発見・早期治療ができるがんも増えてきました。

がん検診は、がんの死亡率を減少させる確実な方法です。

■がん検診の目的は

がん検診は、一見健康な人に対して、「がんがありそう（異常あり）」、「がんがなさそう（異常なし）」ということを判定し、「ありそう」な人に精密検査で診断し、救命できる「がん」を発見することが目的です。

■検診を受ける人は

検診の対象は、症状のない人です。症

状のないうちは進行したがんは少なく、早期に発見できます。早期がんは、そのほとんどが治り、しかも軽い治療ですみます。

早期の治療によって、がんによる死亡を減らすことができます。

■がん検診の評価

近年、がん検診の効果を科学的な方法で評価したうえで、「効果がある」とわかってから公共の政策として実施するのが、国際標準となってきました。

佐用町でもこの基準に則ってがん検診を実施しています。

ぜひ町のがん検診を受けましょう。



保育園での食育

■給食指導

「いただきます」「ごちそうさまでした」のあいさつ、おはしやスプーンの持ち方、食器を持って正しい姿勢で食べるなど、食事のマナーや食への感謝の気持ちを育む指導を行っています。

また給食を残さず食べることや、食事をみんなで楽しむ体験できるように、給食当番活動などを行っています。

■野菜栽培

年長児を中心に、きゅうり、ピーマン、ナス、トマトなどの野菜の栽培活動に取り組んでいます。自分が育てた野菜を収穫し、「給食に使ってください」と給食室に持って行きます。野菜が嫌いな園児も「私が作ったからおいしいよ」などの会話が飛び交い、偏食指導に一役かっています。

■親子クッキング

いずみ会や町栄養士による年長児親子を対象にした食育クッキングを年1回実施しています。元気に成長していくための食生活の話や、親子の調理実習を行っています。

■朝食調査

近年、朝食を食べない子どもたちが増えています。そこで今年は親が手本になり朝食を食べて欲しいという思いから、年2回朝食調査を園児・保護者を対象に実施しました。1回目の結果は、父親の朝食摂取率が低いことがわかりました。数人ですが、朝食を毎日食べていない園児もいました。

今後も、朝食の大切さ、子どもの成長、健康のためにはバランス良く食べることの大切さを伝えていきます。



今月の納税など

●確定申告による
所得税の納期限
3月15日火
口座振替日は4月22日金です
納税は納期限までに！
問 税務課町税対策室
☎82-0662

●後期高齢者医療制度
（普通徴収）第9期分
納期限 **3月31日木**
口座振替日は3月31日木です
問 住民課年金・保険室
☎82-0660

2～3月で建物・農機具共済へ
加入の皆さんへ

建物・農機具共済に加入すると新しい共済証券が届きます。契約内容を確認のうえ、建物・農機具共済証券受領書を必ずのポストへ投函してください。
なお、年度途中に、加入物件・契約者などに異動・変更が生じた場合は、ご連絡ください。
問 農林振興課農業共済推進室
☎82-0667

久崎財産区選挙結果のお知らせと
議長・副議長が決まりました

1月23日執行の久崎財産区議会議員選挙は、候補者数が選挙すべき議員の数を超えなかったため、無投票となりました。

なお、当選者は次のとおりです（届け出順・敬称略）。
横野 恵（櫛田）、中井恒治（円光寺）、坂根光雄（上秋里）、岩本泰治（久崎）、岩本三木男（大日山）、高見惣吉（小赤松）、盛崎 務（久崎）、竹田博和（大酒）、坂本卓夫（家内）、梶原義正（西新宿）、長田政俊（櫛田）、北条義和（下秋里）
問 町選挙管理委員会事務局（総務課）☎82-2549

■議長・副議長が決まる
2月16日に開かれた臨時議会で、議長に北条義和さん（下秋里）、副議長に竹田博和さん（大酒）が就任されました。
問 農林振興課農林土木整備室
☎82-0667

兵庫県
議会議員選挙

■投票日 4月10日金
■告示日 4月1日金
■期日前投票 4月2日土～4月9日土
問 町選挙管理委員会事務局（総務課）☎82-2549

ふたりの出会いを応援
はばタン会員募集

ひょうご出会いサポートセンターでは、「はばタン会員」に登録したかたに、出会いの機会をつくれます。プライバシーは厳守します。
■対象 県内に在住・在勤・在学し、結婚希望の独身のかた
■最寄りの登録申請場所
西播磨出会いサポートセンター
上郡町光都3-7-1
光都サービスセンター
火～土曜日の午前9時～午後5時15分に開館。土曜日は電話予約が必要。
■申請に必要なもの

①登録申込書
②町が発行する独身証明書
③健康保険証
④写真2枚（サイズ規定あり）
⑤印かん
■登録料 年間3,000円
問 西播磨出会いサポートセンター
☎0791（58）1311

国立大学法人
職員採用試験

京都大学、大阪大学、神戸大学などの職員を募集しています。
■募集職種 事務系職員（事務・図書）、技術系職員
■受験資格 昭和57年4月2日以降に生まれたかた
■受付期間 4月1日金～4月8日金
■一次試験 5月15日金
問 近畿地区国立大学法人等職員統一採用試験事務室
☎075（753）2230

兵庫県高齢者放送大学
学生募集

ラジオを聴いて感想文を提出する学習スタイルです。
■対象 60歳以上で県内在住のかた
■募集人員 500人（先着順）。他に聴講制度もあります。
■募集締切 4月11日金
■経費 年間6,000円
■放送 ラジオ関西で毎週土曜日の午前6時30分から30分間
■期間 1年間
■申し込み・お問い合わせ
兵庫県高齢者放送大学
☎079（424）3343

平成23年度国税専門官
採用試験

■受験資格
①昭和57年4月2日～平成2年4月1日生まれのかた
②平成2年4月1日以降生まれのかたで、「(1) 大学を卒業したかたおよび平成24年3月までに大学を卒業する見込みがあるかた」、「(2) 人事院が(1)に掲げるかたと同等の資格があると認めるかた」

■申込受付期間 4月1日金～4月14日金
■第1次試験 6月12日金
問 相生税務署総務課
☎0791（23）0380

みんな集まれ
メンバー募集

①さよう子どもアートスクール
■対象 小・中学生
■活動 月1回程度の町内各地での自然体験、創作活動など（原則第2日曜日）
■応募要領 学校から配布されるチラシに詳細記載 ※サポーター（活動支援の大学生、高校生）も募集します。
②障がい者社会学級
「くすの木学級」は聴覚障がいを持つかた、「青い鳥学級」は視覚障がいを持つかたが、年3回程度集い、交流と学習を深める生涯学習講座です。
※活動を支えるスタッフも随時受け付けています。

③ひかりのさと少年少女合唱団
■対象 保育園・幼稚園児～小・中学生
■指導者 指揮 西岡美沙子さん
主伴奏 尾崎真美さん
■内容 合唱曲や季節の童謡の練習、イベントへの出演、福祉施設への訪問など
■年会費 1,500円（弟妹は1,000円）
■練習日 毎月第2・第4土曜日午前9時30分から2時間
■練習場所 佐用町三日月の明光寺（送迎は保護者で）
問 生涯学習課 ☎82-3336

iii人のうごき
2月20日現在（ ）内は前月比
人 口 19,954人（△30）
男 9,556人（△9）
女 10,398人（△21）
世帯数 7,214戸（△2）

2月中の移動
出生 6人 死亡 29人
転入 28人 転出 35人

お誕生おめでとう
1月21日から2月20日届出分 敬称略

個人情報のため非公開

佐用チャンネル
放送更新日
3月11日金
25日金

■ちょうみんカレンダー 3月上旬～4月上旬				
月日	曜日	内 容	場 所	時 間
3/9	水	福祉相談	久崎老人福祉センター	13:30～16:00
10	木	高年大学南光教室閉講式	南光文化センター	10:30～
11	金	中学校卒業式	各中学校	
12	土	陰陽師コスプレイベント	15分をご覧ください。	
15	火	高年大学三日月教室閉講式	三日月老人福祉センター	10:00～
		高年大学上月教室閉講式	上月文化会館	10:00～
16	水	行政相談	上月支所 南光文化センター 三日月文化センター	13:00～15:00 9:00～11:00
17	木	高年大学佐用教室閉講式	さよう文化情報センター	10:00～
18	金	行政相談	町保健センター	13:00～15:00
23	水	小学校卒業式	各小学校	
25	金	保育園卒園式	各保育園	
4/2	土	佐用町桜まつり	15分をご覧ください。	
3	日	消防出初式	南光スポーツ公園	10:00～
5	火	保育園入園式	各保育園	
6	水	小・中学校入学式	各小中学校	

お悔やみ申し上げます
1月21日から2月20日届出分 敬称略

個人情報のため非公開

わが家のアイドル



山本 瑠良也^{るい や}ちゃん 山本 良好夢^{らい む}ちゃん

やっとお姉ちゃんらしくなってきたお調子ものの"らいむ"と、急にやんちゃになりだした"るいや"。最強タッグ誕生で、これからが楽しみな父さん母さんです。

沿線5大パワースポットの 謎を解け

智頭線クイズラリー
4月10日⑩まで開催

● 1日乗り放題キップがとっても便利



智頭線利用促進協議会では、智頭急行智頭線でクイズラリーを開催します。智頭線沿線5駅（智頭駅、あわくら温泉駅、大原駅、佐用駅、上郡駅）近くにあるパワースポットを巡り、各スポットの『謎』を解明してください。

解明する『謎』と『ヒント』は、各駅に掲示されています。

参加すると、参加賞として先着1,000人に『智頭線普通列車ピンバッジ』をプレゼントします。また3つ以上の謎を解明した参加者には、解明した謎の数に応じて、抽選で沿線特産品が当たります。

くわしくは駅などにあるパンフレットをご覧ください。参加には、お得な智頭線普通列車1日乗り放題キップが便利です（大人1,000円、小児500円）。

企画防災課復興企画室 ☎ 82-2460



● 観光イメージキャラクター決定

町観光協会（会長：坂口榮さん（鎌倉））が募集していた観光イメージキャラクターが決定しました。名前も「おさよん」に決定し、今後は着ぐるみなどを作成し、様々なイベントで佐用町をPRします。

募集した期間は昨年12月1日から今年の1月7日の約1か月。北は青森県、南は長崎県から212人、246作品もの力作がそろいました。

審査には佐用町出身で、美術作家として世界で活躍する中野邦彦さんがアドバイザーとして参加。審査の結果、ひまわり（頭部）や棚田（胴体部分）、また清流千種川や美しい星空など、佐用町の豊かな自然をイメージし、だれからも愛されるデザインであることから、大阪市在住の今井好美さんの作品が最優秀賞として選ばれました。



町観光協会の皆さんなどとともに、一点一点真剣に審査する中野邦彦さん（写真中央）

「おさよん」です。よろしくネ

編集後記

◆県内各市町の広報紙を対象に毎年、コンクールが開催されています。今年度コンクールの町の部で、昨年の12月号広報紙が特選を受賞しました。受賞は、地域の皆さんが自力で将来を築こうとする活動が高く評価されたもの。心から敬意を表するとともに、感謝いたします。◆一昨年の水害をきっかけに、京阪神の学生たちが、町内で様々な活動をしています。先日初めて来町した学生たちの依頼を受け、急ぎよ佐用町をレクチャーしました。◆下手な説明で「悪いな」と思い、ふと顔を上げると、学生たちの真剣なまなざしが。彼らの純粋な思いを垣間見た気がしました。佐用町のためにありがとう。お互いに頑張ろう。⑩